

令和元年度事業報告書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

1. 事業概要

一般財団法人奈良市総合財団は、奈良市が設置する48の公の施設の指定管理者として、利用者の視点に立った管理運営に努め、多様化するニーズに応じてあらゆる人にとって利用しやすい施設をめざすとともに、文化・スポーツ・武道の普及事業及び「ならまち」・「都祁地域」の歴史文化遺産を利用した地域振興事業並びに中小企業勤労者に対する福利厚生事業を実施し、文化の創造及び市民福祉の増進に努めた。

当財団の運営に当たっては、奈良市の進める行財政改革の方針に則り、経営改革を積極的に進め、職員の意識改革のための研修や人事管理制度の改革、会計管理等の内部統制の強化を進めた。

今後も経営基盤の安定化を図るべく計画事業の収益性の見直しや経費節減と事業の質的向上に取り組み、市民の要請にきめ細かく対応できるよう努力を重ね、地域社会の発展に寄与するべく事業運営を重ねていく。

2. 事業内容

各施設の設立趣旨等を踏まえた管理運営と文化の創造と福祉の増進に寄与することを目的として文化振興事業、スポーツ・武道振興事業、まちづくり振興事業、勤労者福祉サービス事業、都祁地域振興事業を推進した。

(1) 文化振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度比

なら100年会館	入館者数	234,758人	(△11.5%)
奈良市美術館	入館者数	34,728人	(△0.7%)
奈良市北部会館市民文化ホール	入館者数	74,819人	(△19.6%)
奈良市杉岡華邨書道美術館	入館者数	6,147人	(△35.3%)

なら100年会館では、規模の大きな催しが前年より少なかったことや新型コロナウイルス

ウイルス感染症の影響で貸館の使用中止や公演開催延期等があったため約30,000人の減少となった。また、奈良市北部会館市民文化ホールでは、利用者の多い催しの中止や減少、各種事業の見直しの影響、高齢者中心の教室参加者の減少もあり約18,000人の減少となった。

奈良市杉岡華邨書道美術館では、新型コロナウイルス感染症の影響でならまち界隈の観光客が激減したこともあり、入館者が約3,300人の減少となった。一方で、奈良市美術館においては、リニューアルオープンに伴う休館の影響で離れていた利用団体が少しずつ戻ってきたため前年度並みの入館者数となった。

(事業内容)

豊かな市民文化の形成を図り、鑑賞・創造・学習を柱に市民の美術鑑賞と創作活動の活性化に寄与するための事業を実施した。

○なら100年会館

万葉オペラ・ラボ事業では、オペラの魅力を発信するコンサートや地元商店街などでのミニ公演を開催し、奈良の歴史の素晴らしさを全国に発信した。また、奈良の歴史、伝統、創造性を生かした「奈良の魅力再発見能楽普及事業」では、神社仏閣等で舞や謡を奉納した。さらに、奈良で芸術の素晴らしさを知り、学ぶ機会を提供するアウトリーチ事業として、盲学校や福祉センターでの室内演奏会を実施した。そのほか、誰もが音楽を楽しめるバリアフリーコンサート等の社会包摂事業を開催した。

催事等の開催回数 440回 参加人数 65,021人

○奈良市美術館

奈良市児童生徒作品展等の主催・共催による展覧会や各種講座を開催した。展示事業においては、近代から昭和時代までの奈良観光の変遷についてポスターやパンフレット等の歴史的資料を展示する「奈良を観る～なら観光記～」展を開催した。奈良市美術館活性化事業「オープンミュージアムプロジェクト」では、奈良市美術館では初めてとなる映像の展覧会を開催した。子どもから大人まで、現代アートを鑑賞体験してもらい多くの好評を得た。

また、奈良市美術家協会と連携して「2019年度市民実技講座・親と子のやさしいアート体験」、「第37回市民実技講座作品展」、「第38回奈良市美術家展」、「第38回市展なら」を開催した。

催事等の開催回数 16回 参加人数 9,576人

○奈良市北部会館市民文化ホール

北部地域の文化振興の発信地として、文化サークル活動が活発な地域性を生かし、文化の拠点、健康増進、憩いの場づくりのための「高の原文化・健康講座」、日本文化の継承、異世代交流の場としての「和楽器講座」、気軽に参加できる「わはは元気コーラス」、癒しの空間を提供する「オータムコンサート」を開催した。また、地域で活発に活動する団体、教育機関等と連携した「平城ニュータウン地区文化祭」で賑わいを生み出した。

そのほか、子育て世代支援として親子・家族を対象としたダンス・体操・お話会のコラボレーション企画「キッズスペシャル」等を開催した。

しかし、新型コロナウイルス感染防止のため毎年開催していた「田尻洋一ピアノコンサート」をはじめ複数の事業・講座を中止したことにより参加人数は大幅に減少することになった。

催事等の開催回数 697回 参加人数 13,330人

○奈良市杉岡華邨書道美術館

書道に関連した分野をテーマに講演する「書道文化講座」、初心者でもすぐに生かせる「書道実技講座」、子ども向けの「筆書き体験コーナー」や学芸員による「作品解説会」を開催した。企画展覧会では、関東を中心に活動する謙信書道会について紹介するシリーズの第5回展として日本芸術院賞受賞者で謙信書道会副理事長、青藍社会長等を歴任された殿村藍田にゆかりのある書家を選抜し紹介した「殿村藍田ゆかりの書家」展を春季企画展として開催した。秋季、冬季の間においては、明治150年を記念して成田山書道美術館で開催された特別展「開館25周年記念成田山書道美術館名品選 明治150年の書道」より厳選した作品を3期に分けて紹介した成田山書道美術館コレクション「明治150年の書道」展を開催した。また、館蔵品展として令和改元に伴い注目を集めた万葉集をテーマにした華邨作品を集め紹介した「新元号『令和』記念華邨が書く万葉の世界」展を開催した。

そのほかにも、他の施設との連携協力の一環として杉岡華邨とかな書作品を紹介する出張パネル展「万葉と華邨のかな書」を名勝大乘院庭園文化館にて開催し、奈良市杉岡華邨書道美術館の広報普及を行った。

催事等の開催回数 20回 参加人数 7,064人

(2) スポーツ・武道振興事業

[指定管理施設]

管理施設の利用者数は以下のとおりであった。 ※ () 内は対前年度比

奈良市中央体育館等6施設 利用者数 298,613人 (△18.9%)

奈良市中央体育館 (愛称:ならでんアリーナ)

奈良市中央第二体育館 (愛称:ならでん第二アリーナ)

奈良市中央武道場 (愛称:ならでん武道場)

奈良市中央第二武道場 (愛称:ならでん第二武道場)

奈良市弓道場 (愛称:ならでん弓道場)

奈良市鴻ノ池相撲場 (愛称:ならでん相撲場) 以上6施設

奈良市西部生涯スポーツセンター等19施設

利用者数 301,176人 (3.5%)

奈良市緑ヶ丘球場

奈良市西部生涯スポーツセンター体育館

奈良市青山プール

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール

奈良市黒谷コート

奈良市平城第一コート

奈良市平城第二コート

奈良市青山コート

奈良市佐保山コート

奈良市西部生涯スポーツセンターコート

奈良市黒谷球技場

奈良市平城第一球技場

奈良市平城第二球技場

奈良市中ノ川球技場 (令和元年6月30日廃止)

奈良市奈良阪球技場

奈良市登美ヶ丘球技場

奈良市西部生涯スポーツセンター球技場

奈良市西部生涯スポーツセンターゲートボール場

奈良市西部生涯スポーツセンタークラブハウス 以上19施設

奈良市南部生涯スポーツセンター等6施設

利用者数 109,244人 (4.7%)

奈良市南部生涯スポーツセンター体育館

奈良市柏木コート

奈良市南部生涯スポーツセンターコート

奈良市柏木球技場

奈良市南部生涯スポーツセンター球技場

奈良市南部生涯スポーツセンター多目的コート 以上6施設

奈良市中央体育館等6施設では、屋内施設ということもあり、3月に予定されていた大会等が新型コロナウイルス感染症の影響で殆どが中止となり、また財団主催の事業も2月22日から全て中止したため、利用者は前年度より約70,000人の減少となった。

奈良市西部生涯スポーツセンター等19施設では、奈良市青山プールが7月13日から8月31日まで無休で開館したが、猛暑の影響もあり利用者数は例年通りであった。このほか、奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プールにおいては、前年度7月よりプール天井からの落下物が発生したことによる点検と修繕整備のために、約1年間閉館していたが、8月から開館し前年度より3ヶ月開館期間が増え、利用者数は約20,000人の増加となった。

奈良市南部生涯スポーツセンター等6施設では、テニスコートの利用者数がわずかに減少したが、球技場については好天に恵まれ前年度より約2,000人の増加となった。また、体育館も利用者数の多い大会等の開催によって前年度より約3,500人の増加となり、6施設全体では約5,000人の増加となった。

(事業内容)

体育、スポーツ及び武道の普及振興を図ることにより、健全な心身の維持及び発達並びに明るく豊かな生活の形成に寄与するための事業を実施した。

○奈良市中央体育館等6施設

体育施設では、奈良市体育協会に加盟している各種団体と連携して競技スポーツの教室や健康増進につながる事業を実施した。また、「Top Sports City 奈良」のパートナーチーム「バンビシャス奈良」と提携してバスケットボールス

クールを開催した。武道施設では、剣道、柔道、槍術、なぎなた、弓道等の武道教室と早朝稽古（奈良市土用稽古会・奈良市寒稽古会・参禅会）を各種武道関連団体との連携、協力のもとに開催した。また、武道教室生が各種競技会に参加することによって教室の活性化を図り、武道人口の裾野が広がるように事業展開を行った。

催事等の開催回数 1, 492回 参加人数 36, 163人

○奈良市西部生涯スポーツセンター等19施設

温水プールを活用した水泳教室や水中健康運動教室等施設の特性を生かした自主事業を実施する計画であったが、プール天井の点検と修繕整備のためにプール営業が8月開始となり、9月から3月までの第2期、第3期のみの開催となった。また、体育館では、自主事業として新規教室「たのしいフロアーウォーキング教室」を開催し、参加者から好評を得た。

催事等の開催回数 778回 参加人数 12, 351人

○奈良市南部生涯スポーツセンター等6施設

ミズノスポーツサービス株式会社等との共同体による施設管理を行うとともに、「奈良市バスケットボールスクール」や「奈良市サッカースクール」、「バドミントン教室」、「野球大会」等スポーツに関わる自主事業を開催し、スポーツの振興を図った。

催事等の開催回数 146回 参加人数 3, 103人

(3) まちづくり振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度比

奈良市ならまちセンター	入館者数	70, 988人	(△4. 4%)
奈良市音声館	入館者数	58, 102人	(△6. 1%)
なら工芸館	入館者数	43, 664人	(△7. 5%)
入江泰吉記念奈良市写真美術館	入館者数	35, 226人	(△16. 3%)
入江泰吉旧居	入館者数	6, 409人	(△13. 2%)
奈良市ならまち格子の家	入館者数	77, 923人	(△8. 5%)

奈良市ならまちセンターでは、芝生広場活用事業4事業等を行い入場者数約8, 000人の増加で当初推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で施設利用の

相次ぐキャンセルが発生し、最終約3,000人の減少となった。奈良市音声館においても、新型コロナウイルス感染症の影響で、自主事業の中止や施設利用のキャンセルがあったため、約3,700人の減少となった。

また、なら工芸館では、「ぐるっとバス」の運行ルート変更に伴いなら工芸館前停留所がなくなったことや、新型コロナウイルス感染症の影響で約3,500人の減少となり、奈良市ならまち格子の家においても、新型コロナウイルス感染症の影響で約7,000人の減少となった。

入江泰吉記念奈良市写真美術館では、新たな事業展開により入館者の獲得に努めたが約7,000人の減少となった。入江泰吉旧居では、前年度に引き続き入館者を獲得するため、事業の充実を図りつつ、PRポスターを製作、配布し、大手新聞社による全国紙掲載など広報活動に努めたが、前年度入館者数には届かなかった。

(事業内容)

なら・まほろば景観まちづくり条例に基づく奈良町都市景観形成地区を中心とした「ならまち」において、地域の文化振興・活性化のための事業及び広報啓発事業を実施した。

○奈良市ならまちセンター

奈良出身の出演者を起用した「ならまちコンサート」、「ならまち篝火コンサート」、「ならまち落語会」や開館30周年より継続して開催している「ならまち邦楽コンサート・ならまちクリスマスコンサート」、連携事業として劇団高円との「劇団高円定期公演」等、地域・NPO法人宙塾との「子どもおん祭」等の20事業を開催した。また、奈良大学と共同で開催した「ならまちナイトスクーリング・世界遺産講座」と奈良町落語館との共催による「南都落語会」等のほか、芝生広場活用プロジェクトとして「ならまち青空BOOKCAFE・ならまちハワイアン&フラフェスタ・ならもうまいものフェスタ」等を開催した。

催事等の開催回数 76回 参加人数 16,730人

○奈良市音声館

奈良で古くから唄われてきた“わらべうた”を後世に伝える「ならまちわらべうた教室」では、子どものクラスに加え大人対象のクラスを増設した。また、子どもに伝統文化や音楽を学ぶ場として「子どもお茶教室」、「子ども邦楽教室～箏・三味線・尺八～」を通年で開催し、今年度より新規事業として「子どもいけ花教室」を開催し

た。奈良の民話普及事業では、劇団「良弁杉」の活動を行い、民話を題材にした創作ミュージカルや大型紙芝居の定期公演を行った。また、アウトリーチ活動として、「ならまち格子の家」での民話の語りを通年で開催し、幼稚園・小学校等への大型紙芝居の出張公演を行った。この活動は、わらべうた普及事業の一環でも行い「出張わらべうた教室」も数多く開催した。

このほかにも、同館スタッフによる「エントランスコンサート」や一般市民が出演・出展する「やわらぎコンサート」、「ミュージックフェスティバル」、「音声館ギャラリー制作教室」を開催した。

催事等の開催回数 313回 参加人数 11,661人

○なら工芸館

工芸制作教室（10種目・11教室）を通年で開催した。また、伝統工芸後継者育成制度による第5期生3名の研修生が、工房主の下での研修及び当館において制作実演を行った。奈良工芸フェスティバルでは、各種工芸体験や制作実演等を開催したほか、子どもを対象にした夏休み期間中の工芸教室、奈良筆や奈良団扇等の「一日体験工芸教室」も開催した。

常設展示室の作品展示では、「日本伝統工芸近畿展IN奈良2019」、奈良工芸フェスティバル開催期間中に「奈良伝統工芸展」、第七回奈良大茶会「珠光茶会」の開催に合わせて「古赤膚焼展」を開催した。

催事等の開催回数 284回 参加人数 32,259人

○入江泰吉記念奈良市写真美術館

展示事業では、入江泰吉作品を『祈り』『花』『ほとけさま』『道』のテーマ別に分けて年間を通じて展示した。いずれのテーマも入江氏の代表作が多く含まれているため、新たな客層にも入江作品の魅力を伝えることができた。また、世界的にも著名な写真家である瀬戸正人氏、石内都氏、鬼海弘雄氏、尾中浩二氏の作品展を開催することで写真美術館としての周知に努め、市民や奈良を訪れる方々に入江作品のみならず、多様な写真芸術を鑑賞できる機会を提供することができた。館内展示事業以外に、アウトリーチ活動として、奈良県高等学校写真部会と共催で総合文化祭や写真部活性化のための事業を開催した。また、当館学芸員や技術員が積極的に出前講座等を行い、写真文化の普及に努めた。

奈良市との共催事業として、「入江泰吉記念写真賞」及び「ならPHOTO CO

「N T E S T」の周知のため第3回受賞作品の巡回展を行うとともに、入江泰吉氏の功績の顕彰と写真文化の発展に努めた。

催事等の開催回数 69回 参加人数 35,029人

○入江泰吉旧居

入江泰吉の人となりを紹介する「入江泰吉を語り継ぐ」をはじめ、奈良ゆかりの人々を紹介する講座や万葉集をテーマに取り上げた「入江泰吉と万葉集」、暗室を使った「親子で作るピンホールカメラ教室」等を開催した。そのほか、旧居の魅力を伝える「夕べの集い〜蛍鑑賞〜」や旧居の四季を親しむ「はじめの一句」等を開催した。

一方、新型コロナウイルス感染症の影響で、冬季の人気講座「伝統行事と入江泰吉」や「入江泰吉の眼を歩く」等のイベントを中止した。

催事等の開催回数 38回 参加人数 330人

○奈良市ならまち格子の家

来訪者に対する案内業務（受付やならまち観光の見所紹介）、「ならまちの歴史と町並み紹介」の常設展示、その他パネル展等を開催した。「奈良の民話を楽しもう」を年6回、このほか9月に「ステンドグラス展」、10月に「和 結びの器展」を開催した。

催事等の開催回数 22回 参加人数 3,486人

(4) 勤労者福祉サービス事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度比

奈良市勤労者総合福祉センター 入館者数 54,189人 (△4.3%)

奈良市勤労者総合福祉センターでは、多目的ホール等の施設利用状況は前年度とほぼ同様であったが、入館者数はわずかに減少した。

(事業内容)

地域経済の担い手である中小企業勤労者を対象に、福祉の向上及び余暇活用の充実、生活の安定を図るため、総合的な福祉事業を実施した。

○奈良市勤労者総合福祉センター

パソコン教室や生涯スポーツとしての社交ダンス講座やヨガ教室のほか、各種教室を開催した。

催事等の開催回数 104回 参加人数 7,644人

○勤労者福祉サービスセンター事業部門

企業内福祉をサポートする役目を担い、勤労者の福利厚生の実施に役立つ事業を実施した。具体的には、市内の中小企業の事業所に対し、福祉事業の内容について広報を行うとともに加入の促進を図った。また、福利厚生事業として会員及びその家族を対象に、日帰りバスツアーや施設割引利用、会員の相互扶助を基本とした各種給付事業、健康維持・健康増進及び文化各種教室の受講費補助を行う健康管理事業並びに貸付幹旋事業を実施した。

催事等の開催回数 14回 参加人数 1,193人

本施設における各事業に対する利用者数

施設利用事業	延べ人数	21,323人
健康管理事業	延べ人数	3,333人
給付事業		907人

(5) 都祁地域振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数又は利用者数は以下のとおりであった。※()内は対前年度比

奈良市都祁交流センター 入館者数 16,437人 (△16.2%)

奈良市都祁体育館 利用者数 8,771人 (2.7%)

奈良市都祁生涯スポーツセンターコート

利用者数 2,808人 (△11.2%)

奈良市都祁生涯スポーツセンター球技場

利用者数 11,559人 (△12.8%)

奈良市都祁生涯スポーツセンター多目的コート

利用者数 223人 (△26.9%)

奈良市都祁生涯スポーツセンタークラブハウス

利用者数 240人 (△45.5%)

奈良市都祁交流センターでは、新型コロナウイルス感染症の影響で事業数及び貸館事業数が大幅に減少し、利用者数は約3,000人の減少となった。

また、奈良市都祁生涯スポーツセンター4施設では、球技場は天候不順と春休み期

間中の利用の減少、酷暑と雨天取り消しの増加もあり、団体利用の減少等が原因で約1,500人の減少となった。テニスコートでは、部活動の合宿による増加があったものの、熱中症対策による団体利用の減少が原因で約300人の減少となった。多目的コートについては、高齢者によるゲートボールの利用が大幅に減少した。クラブハウス内の会議室については、昨年と同様に夏季の熱中症対策の控室としての利用があった。

一方、奈良市都祁体育館では、一般のフットサルや各種自主クラブ・子どもバレーボールクラブ等の団体利用が微増した。予約システム「e古都なら」による利用頻度が高まり知名度も上向きとなっている。新型コロナウイルス感染症による影響は最小限であった。

(事業内容)

都祁地域において、市民の文化芸術の振興及び市東部地域住民との交流促進に努め、生涯スポーツ宣言地域として各種団体等による幅広い施設利用を推進し、市東部地域の発展に寄与するための事業を実施した。

地域間・世代間交流事業として、都祁交流センターでは図書室を併設しているため、絵本の紹介や紙芝居の鑑賞等読書の魅力も同時に発信することが可能であることから、元保育士や賛同ボランティアによる月1回の「おはなしの会」を開催した。また、勉強会も定期的に開催し、「おはなしの会」の更なる充実に努めた。

スポーツ普及の事業として、「健康づくり・体力づくり体験会」と称して「ヨガ教室」を開催した。

また、2月下旬以降の「都祁映画祭」、「ノルディック・ウォーキング教室」、「ヨガ教室」については、新型コロナウイルス感染防止のため全て中止した。

そのほか、実行委員会主催事業への協賛として、8月開催の「つげ夏まつり」（8月15日台風の影響で延期開催。抽選会と花火打ち上げのみ）と11月開催の「つげまつり2019」に協力した。

催事等の開催回数 11回 参加人数 1,772人

貸借対照表
令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	221,926,158	336,420,203	△ 114,494,045	
現金	3,626,886	5,228,669	△ 1,601,783	
当座預金	9,590	1,000	8,590	
普通預金	218,289,682	214,190,534	4,099,148	
定期預金	0	117,000,000	△ 117,000,000	
未収金	3,333,557	5,622,290	△ 2,288,733	
前払金	1,835,660	2,331,788	△ 496,128	
商品	3,477,228	3,731,821	△ 254,593	
貯蔵品	136,777	100,618	36,159	
流動資産合計	230,709,380	348,206,720	△ 117,497,340	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	50,000,000	50,000,000	0	
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0	
(2) 特定資産				
財政変動準備積立金	132,000,000	0	132,000,000	
減価償却引当預金	1,520,377	2,827,612	△ 1,307,235	
書道芸術振興積立金	37,355,319	37,355,319	0	
永年在会給付事業積立預金	11,582,742	12,865,742	△ 1,283,000	
運営基金積立準備預金	7,797,291	7,604,291	193,000	
共済事業引当預金	1,119,383	1,819,523	△ 700,140	
記念事業費積立預金	11,256,263	11,256,263	0	
特定資産合計	202,631,375	73,728,750	128,902,625	
(3) その他の固定資産				
車両運搬具	1,218,416	2	1,218,414	
什器備品	2	2	0	
リース資産	11,268,720	14,145,840	△ 2,877,120	
預託金	9,140	0	9,140	
その他固定資産合計	12,496,278	14,145,844	△ 1,649,566	
固定資産合計	265,127,653	137,874,594	127,253,059	
資産の部合計	495,837,033	486,081,314	9,755,719	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	116,720,428	148,306,738	△ 31,586,310	
前受金	424,190	5,310,450	△ 4,886,260	
預り金	12,350,733	20,853,856	△ 8,503,123	
リース債務	2,877,120	2,877,120	0	
流動負債合計	132,372,471	177,348,164	△ 44,975,693	
2. 固定負債				
リース債務	8,391,600	11,268,720	△ 2,877,120	
固定負債合計	8,391,600	11,268,720	△ 2,877,120	
負債の部合計	140,764,071	188,616,884	△ 47,852,813	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄付金	86,003,617	86,003,617	0	
指定正味財産合計	86,003,617	86,003,617	0	
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(36,003,617)	(36,003,617)	(0)	
2. 一般正味財産	269,069,345	211,460,813	57,608,532	
(うち特定資産への充当額)	(166,627,758)	(37,725,133)	(128,902,625)	
正味財産の部合計	355,072,962	297,464,430	57,608,532	
負債及び正味財産合計	495,837,033	486,081,314	9,755,719	

収 支 計 算 書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	30,000	29,237	763	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	8,000	120,886	△ 112,886	
③ 受取入会金				
受取入会金	193,000	167,500	25,500	
④ 受取会費				
受取会費	39,638,000	37,375,300	2,262,700	
⑤ 事業収益				
入場料収益	53,683,000	19,583,900	34,099,100	
観覧料収益	1,665,000	113,400	1,551,600	
受講料収益	84,108,000	58,574,182	25,533,818	
出品料収益	750,000	583,000	167,000	
参加費収益	1,266,000	674,350	591,650	
普及事業収益	485,000	355,500	129,500	
小売業収益	4,400,000	2,996,072	1,403,928	
受取手数料	4,229,000	4,351,554	△ 122,554	
事業受託収益	1,018,000	1,316,850	△ 298,850	
共催事業管理収益	12,130,000	12,153,440	△ 23,440	
その他収益	2,325,000	1,422,280	902,720	
⑥ 受取補助金等				
受取指定管理料	1,286,853,000	1,283,336,259	3,516,741	
受取地方公共団体補助金	107,517,000	103,950,922	3,566,078	
受取民間助成金	2,960,000	2,253,000	707,000	
⑦ 受取負担金				
受取負担金	44,261,000	33,635,277	10,625,723	
⑧ 雑収益				
受取利息	157,000	4,598	152,402	
雑収益	2,851,000	4,027,767	△ 1,176,767	
運営協力金等収益	2,400,000	319,142	2,080,858	
経常収益計	1,652,927,000	1,567,344,416	85,582,584	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
(2) 經常費用				
① 事業費				
給料手当	539,457,000	523,594,084	15,862,916	
臨時雇賃金	45,670,000	35,652,822	10,017,178	
福利厚生費	103,134,000	98,661,913	4,472,087	
視察費	100,000	0	100,000	
旅費交通費	1,550,000	766,350	783,650	
通信運搬費	10,439,000	8,246,448	2,192,552	
減価償却費	0	2,987,885	△ 2,987,885	
地方公共団体帰属備品等購入費	540,000	538,600	1,400	
消耗什器備品費	1,440,000	194,966	1,245,034	
消耗品費	28,902,000	18,094,931	10,807,069	
修繕費	12,623,000	8,706,904	3,916,096	
印刷製本費	16,279,000	12,918,799	3,360,201	
燃料費	3,045,000	2,723,060	321,940	
光熱水料費	246,258,000	213,885,523	32,372,477	
賃借料	36,067,000	25,858,252	10,208,748	
保険料	8,959,000	7,170,888	1,788,112	
諸謝金	49,020,000	35,449,258	13,570,742	
租税公課	67,454,000	59,946,266	7,507,734	
支払負担金	3,794,000	3,763,588	30,412	
支払助成金	68,008,000	53,556,884	14,451,116	
委託費	321,930,000	285,966,263	35,963,737	
会議費	90,000	31,694	58,306	
支払手数料	8,472,000	5,859,319	2,612,681	
広告宣伝費	4,639,000	2,025,880	2,613,120	
仕入	1,715,000	1,160,631	554,369	
原材料費	1,015,000	877,214	137,786	
医薬材料費	1,357,000	998,210	358,790	
雑費	216,000	55,578	160,422	
② 管理費				
役員報酬	177,000	77,440	99,560	
給料手当	52,382,000	50,658,629	1,723,371	
福利厚生費	9,680,000	9,348,264	331,736	
研修費	125,000	110,600	14,400	
旅費交通費	28,000	13,490	14,510	
通信運搬費	273,000	249,573	23,427	
消耗品費	478,000	473,554	4,446	
印刷製本費	16,000	15,660	340	
燃料費	31,000	31,000	0	
賃借料	4,044,000	3,997,683	46,317	
保険料	5,000	3,200	1,800	
諸謝金	745,000	620,000	125,000	
租税公課	62,000	49,541	12,459	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
支払負担金	5,518,000	2,788,791	2,729,209	
委託費	2,580,000	2,579,500	500	
支払手数料	176,000	154,248	21,752	
経常費用計	1,658,493,000	1,480,863,383	177,629,617	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,566,000	86,481,033	△ 92,047,033	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 5,566,000	86,481,033	△ 92,047,033	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除去損				
車両運搬具除去損	0	1	△ 1	
雑損失				
雑損失	0	25,000	△ 25,000	
経常外費用計	0	25,001	△ 25,001	
当期経常外増減額	0	△ 25,001	25,001	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 5,566,000	86,456,032	△ 92,022,032	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,566,000	86,456,032	△ 92,022,032	
法人税、住民税及び事業税	416,000	28,847,500	△ 28,431,500	
当期一般正味財産増減額	△ 5,982,000	57,608,532	△ 63,590,532	
一般正味財産期首残高	211,461,000	211,460,813	187	
一般正味財産期末残高	205,479,000	269,069,345	△ 63,590,345	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	86,004,000	86,003,617	383	
指定正味財産期末残高	86,004,000	86,003,617	383	
III 正味財産期末残高	291,483,000	355,072,962	△ 63,589,962	

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	29,237	28,918	319	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	120,886	3,864	117,022	
③ 受取入会金				
受取入会金	167,500	164,500	3,000	
④ 受取会費				
受取会費	37,375,300	38,837,100	△ 1,461,800	
⑤ 事業収益				
入場料収益	19,583,900	21,721,757	△ 2,137,857	
観覧料収益	113,400	261,000	△ 147,600	
受講料収益	58,574,182	65,719,110	△ 7,144,928	
出品料収益	583,000	615,000	△ 32,000	
協賛金収益	0	500,000	△ 500,000	
参加費収益	674,350	1,325,900	△ 651,550	
普及事業収益	355,500	306,500	49,000	
小売業収益	2,996,072	2,181,250	814,822	
受取手数料	4,351,554	4,395,488	△ 43,934	
事業受託収益	1,316,850	833,400	483,450	
共催事業管理収益	12,153,440	9,763,420	2,390,020	
その他収益	1,422,280	1,017,506	404,774	
⑥ 受取補助金等				
受取指定管理料	1,283,336,259	1,221,648,414	61,687,845	
受取地方公共団体補助金	103,950,922	108,051,119	△ 4,100,197	
受取民間助成金	2,253,000	2,881,000	△ 628,000	
⑦ 受取負担金				
受取負担金	33,635,277	42,083,115	△ 8,447,838	
⑧ 雑収益				
受取利息	4,598	80,706	△ 76,108	
雑収益	4,027,767	2,959,992	1,067,775	
運営協力金等収益	319,142	1,202,399	△ 883,257	
経常収益計	1,567,344,416	1,526,581,458	40,762,958	

科 目	当 年 度	前 年 度	增 減	備 考
(2) 經常費用				
① 事業費				
給料手当	523,594,084	518,188,171	5,405,913	
臨時雇賃金	35,652,822	33,752,879	1,899,943	
福利厚生費	98,661,913	98,051,397	610,516	
旅費交通費	766,350	803,300	△ 36,950	
通信運搬費	8,246,448	8,334,634	△ 88,186	
減価償却費	2,987,885	239,760	2,748,125	
地方公共団体帰属備品等購入費	538,600	0	538,600	
消耗什器備品費	194,966	1,046,749	△ 851,783	
消耗品費	18,094,931	22,768,754	△ 4,673,823	
修繕費	8,706,904	32,395,625	△ 23,688,721	
印刷製本費	12,918,799	13,518,079	△ 599,280	
燃料費	2,723,060	2,241,076	481,984	
光熱水料費	213,885,523	212,740,917	1,144,606	
賃借料	25,858,252	28,547,703	△ 2,689,451	
保険料	7,170,888	6,329,383	841,505	
諸謝金	35,449,258	41,921,355	△ 6,472,097	
租税公課	59,946,266	49,256,323	10,689,943	
支払負担金	3,763,588	3,697,788	65,800	
支払助成金	53,556,884	56,992,215	△ 3,435,331	
委託費	285,966,263	282,830,218	3,136,045	
会議費	31,694	28,870	2,824	
支払手数料	5,859,319	4,570,933	1,288,386	
広告宣伝費	2,025,880	2,423,800	△ 397,920	
仕入	1,160,631	1,164,674	△ 4,043	
原材料費	877,214	1,060,930	△ 183,716	
医薬材料費	998,210	756,972	241,238	
雑費	55,578	127,156	△ 71,578	
② 管理費				
役員報酬	77,440	6,169,280	△ 6,091,840	
給料手当	50,658,629	52,057,643	△ 1,399,014	
福利厚生費	9,348,264	10,667,579	△ 1,319,315	
研修費	110,600	57,240	53,360	
旅費交通費	13,490	11,030	2,460	
通信運搬費	249,573	267,581	△ 18,008	
消耗品費	473,554	433,640	39,914	
印刷製本費	15,660	0	15,660	
燃料費	31,000	32,000	△ 1,000	
賃借料	3,997,683	3,977,683	20,000	
保険料	3,200	3,200	0	
諸謝金	620,000	360,000	260,000	
租税公課	49,541	52,329	△ 2,788	

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
支払負担金	2,788,791	5,323,190	△ 2,534,399	
委託費	2,579,500	2,543,400	36,100	
支払手数料	154,248	131,336	22,912	
経常費用計	1,480,863,383	1,505,876,792	△ 25,013,409	
評価損益等調整前当期経常増減額	86,481,033	20,704,666	65,776,367	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	86,481,033	20,704,666	65,776,367	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除去損				
車両運搬具除去損	1	0	1	
雑損失				
雑損失	25,000	0	25,000	
経常外費用計	25,001	0	25,001	
当期経常外増減額	△ 25,001	0	△ 25,001	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	86,456,032	20,704,666	65,751,366	
税引前当期一般正味財産増減額	86,456,032	20,704,666	65,751,366	
法人税、住民税及び事業税	28,847,500	3,277,000	25,570,500	
当期一般正味財産増減額	57,608,532	17,427,666	40,180,866	
一般正味財産期首残高	211,460,813	194,033,147	17,427,666	
一般正味財産期末残高	269,069,345	211,460,813	57,608,532	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	86,003,617	86,003,617	0	
指定正味財産期末残高	86,003,617	86,003,617	0	
III 正味財産期末残高	355,072,962	297,464,430	57,608,532	

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科	目	金 額
I 資産の部		
1. 流動資産		
	現金預金	221,926,158
	現金	3,626,886
	当座預金	9,590
	ゆうちょ銀行	9,590
	普通預金	218,289,682
	南都銀行	214,646,870
	ゆうちょ銀行	800
	近畿労働金庫	3,642,012
	未収金	3,333,557
	前払金	1,835,660
	商品	3,477,228
	貯蔵品	136,777
	流動資産合計	230,709,380
2. 固定資産		
基本財産		
	定期預金	50,000,000
	南都銀行	10,000,000
	近畿労働金庫	10,000,000
	奈良県農業協同組合	10,000,000
	奈良信用金庫	10,000,000
	大和信用金庫	10,000,000
特定資産		
	財政変動準備積立金	132,000,000
	減価償却引当預金	1,520,377
	書道芸術振興積立金	37,355,319
	永年在会給付事業積立預金	11,582,742
	運営基金積立準備預金	7,797,291
	共済事業引当預金	1,119,383
	記念事業費積立預金	11,256,263
その他固定資産		
	車両運搬具	1,218,416
	什器備品	2
	リース資産	11,268,720
	預託金	9,140
	固定資産合計	265,127,653
	資産合計	495,837,033
II 負債の部		
1. 流動負債		
	未払金	116,720,428
	前受金	424,190
	預り金	12,350,733
	リース債務	2,877,120
	流動負債合計	132,372,471
2. 固定負債		
	リース債務	8,391,600
	固定負債合計	8,391,600
	負債合計	140,764,071
	正味財産	355,072,962